

**【熊本地震】両陛下、被災地お見舞いへ 「できるだけ早期に」とのお気持ち**

宮内庁の山本信一郎次長は 25 日の定例会見で、天皇、皇后両陛下が熊本県を中心に相次いでいる地震の被災地を見舞われる方向で検討していることを明らかにした。

山本次長は「両陛下はできるだけ早期に訪問し、被災者を励ましたいとお気持ちでおられる」とした上で、時期については「被災者対策などにあたっている地元の判断を踏まえて検討する」と強調した。

宮内庁によると、両陛下は地震発生直後から甚大な被害に心を痛め、余震が続く中で不安な生活を送っている被災者のことを心配されている。15 日に熊本県の蒲島郁夫知事に犠牲者への哀悼の気持ちなどを伝えたほか、22 日には同県に見舞金を贈られている。